平成２３年度事務事業評価調書

平成２３年度作成

平成２２年度 実 施 事 業

事務事業名	鉱山地域住民タクシー経費

区分	番号	名　　称					
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち					
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる					
施策	1	総合的な交通網の整備					
小分類	2	交通手段の確保					
主要な施策	1	①　人にやさしい交通手段の確保					
事務事業番号	002	事務事業コード	43121002	事業開始年度	平成　9　年度	事業終了年度	平成　－　年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	鉱山地域福祉タクシー経費

部　名	市民生活部	グループ名	市民サービスG

統合前または名称変更前の事業名	

事務事業の目的と成果

目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 鉱山地域住民の交通の便を確保するため、タクシーを利用する場合における費用の一部を助成することにより、地域住民の生活の安定に資する。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 鉱山地域生活バスの廃止に伴い、地域住民の交通手段を確保するため、フォレスト鉱山からJR幌別駅の区間を対象に、１ヶ月２往復分のタクシーチケットを交付する。 （年２回上期と下期に分けて交付） 対象世帯　２世帯×４枚／月×１２カ月＝９６枚交付（うち１世帯については長期不在のため未交付）
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 鉱山地域住民の交通の利便を確保するため、利用するタクシー料金の一部を助成し生活の安定を図る。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください） 登別市鉱山地域住民タクシー利用事業実施要綱

指標の推移

区　　分			単位	区分	22年度 実　績	23年度 目　標	24年度 目　標	25年度 目　標	26年度 目　標
成果指標	①	使用枚数	枚	目標値	96	-	-	-	-
				実績値	44				
	②	助成金額	千円	目標値	130	-	-	-	-
				実績値	116				

事業費の推移

区　　分			単位	22年度決算	23年度当初予算	24年度見込	25年度見込	26年度見込	24～26年度
事業の財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	116	130	33	33	33	99
	合　計			116	130	33	33	33	99

（参考）上記事業を実施する上で必要となる人件費		単位	22年度	23年度
	職　　員	千円	100	34
	嘱 託 員	千円	0	0
	臨時職員	千円	0	0
	合　　計		100	34

担当グループによる事務事業評価の内容

１．事務事業の妥当性について

質問	選択		理由	内容
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	◎	妥当である	妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？	生活バスの廃止に伴い、移動手段がなくなった市民の生活を守る事業であり、市が実施することは妥当である。
		妥当ではない		

２．事務事業の成果について

質問	選択		理由	内容
成果はあがっていますか？		成果があがっている	成果があがっている理由、あがらない理由はなんですか？	鉱山町に居住する自家用車を保有しない住民を支援することにより、一ヶ月２往復ではあるが交通手段を確保できており、地域住民の足の確保につながっている。
	◎	どちらかといえばあがっている		
		成果があがらない		

３．事務事業の成果向上について

質問	選択		理由	内容
成果を向上させることはできますか？		大きく向上させることができる	どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？	交付した一ヶ月２往復分のタクシーチケットのほとんどを利用しており、これ以上の向上は難しいと思われる。
		少し向上させることができる		
	◎	向上させることはできない		

４．事務事業の経済性・効率性について

質問	選択		理由	内容
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？		削減できる	どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由はなんですか？	平成１９年度より、一ヶ月２往復（平成１８年度までは一ヶ月４往復）に要綱を改正していることから、これ以上の削減は難しいと思われる。
	◎	削減できない		

担当グループによる評価

評価	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）
維　持	鉱山地域生活バスの代替措置制度としての事業であったが、平成２３年４月現在、対象者（鉱山地域の住民で自家用車を所有していない者）が長期不在の状況にあることから、事業を縮小し対象者の状況の把握に努めていくこととする。

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

評価	備考
維　持	

※評価の種類
◆拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
◆維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
◆改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
◆休止（暫定的に休止する事務事業）
◆終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
◆廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）